

インド太平洋時代の日本外交

— スイング・ステーツへの対応 —

平成27年3月



公益財団法人 日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、当研究所が平成 25 年度及び同 26 年度外務省外交・安全保障調査研究事業の一つとして実施した研究プロジェクト『『インド太平洋時代』の日本外交：Secondary Powers/Swing States への対応』の成果を取りまとめたものです。

近年、「インド太平洋」という新しい地域概念が注目されています。その背景には、インド洋と太平洋が政治、経済、安全保障などで連結しているという認識があります。「インド太平洋」は、海洋安全保障、経済・貿易、諸地域間との相互作用、大国間政治における対抗や競合の高まりなどの観点から、一つのまとまりある地域として戦略的な重要性を増しています。今後、どのように「インド太平洋」地域の国際秩序が形成され、規範やルールが設定されていくかは、日本の平和と繁栄に深くかかわる新しい外交課題になっています。

本事業では、インド太平洋地域の将来に決定的に重要である米中両国の動向に加えて、地域秩序の方向性に影響力を有するスイング・ステーツ（Swing States）としてインド、インドネシア、ASEAN、オーストラリアなどの重要な国家群・地域組織の動向が極めて重要であるという問題意識に基づいています。米国と中国の動向に加えて、これらのスイング・ステーツのインド太平洋地域に対する認識や対外政策の動向、多様で重層的な地域制度ネットワーク、競合する地域貿易協定構想の動向、各国の政治指導者・識者の見解、日本のアジア戦略などについて考察しています。さらに日本外交への含意として、これら重要なスイング・ステーツや地域組織との関係を強化しつつ、日本にとって望ましい「インド太平洋」地域秩序の構築に向けた外交政策への提言をまとめました。

本報告書には 2 年間にわたって研究会メンバーが議論を積み重ねた研究成果である論文が収められています。ここに表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありませんが、この研究成果が、わが国の外交・安全保障に関する政策研究や議論の向上に資することを心より期待するものであります。

最後に、本研究に真摯に取り組まれ、報告書の作成にご尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 27 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

主 査： 菊池 努 日本国際問題研究所客員研究員／青山学院大学教授

委 員： 伊藤 融 防衛大学校准教授
片田 さおり 南カリフォルニア大学准教授
加藤 洋一 朝日新聞編集委員
神谷 万丈 防衛大学校教授
高木 誠一郎 日本国際問題研究所研究顧問
中山 俊宏 日本国際問題研究所客員研究員／慶応義塾大学教授
福田 保 東洋英和女学院大学専任講師
本名 純 立命館大学教授
八木 直人 海上自衛隊幹部学校教官

委員兼幹事： 飯島 俊郎 日本国際問題研究所副所長
石田 康之 日本国際問題研究所研究員

担当助手： 石塚 陽子 日本国際問題研究所研究助手

(敬称略、五十音順)

目 次

序 章 「インド太平洋」の地域秩序とスイング・ステーツ	菊池 努… 1
第1章 アメリカ外交における「インド太平洋」概念 —オバマ政権はそれをどのように受容したか—	中山 俊宏… 41
第2章 海洋の安全保障： A2/AD、オフショア・バランス論争と「インド太平洋」	八木 直人… 49
第3章 中国と「インド太平洋」概念	高木 誠一郎… 59
第4章 インドにおける政権交代と「インド太平洋」	伊藤 融… 69
第5章 インドネシア・ジョコウィ政権の外交ビジョンと「インド太平洋」	本名 純… 79
第6章 ASEAN と「インド太平洋」	福田 保… 89
第7章 「インド太平洋」の政治経済学： 競合する地域貿易協定構想と日本の経済外交	片田 さおり… 97
第8章 日本のアジア戦略と「インド太平洋」	神谷 万丈…113
第9章 「インド太平洋」の地域安全保障と Swing States： 各国政治指導者・識者の見解と用語としての有意性	加藤 洋一…131
第10章 「インド太平洋」地域外交に向けた日本の外交政策への提言 「インド太平洋時代の日本外交」研究会 菊池 努・神谷 万丈・石田 康之…143	